

カルチャーたかつ TAKATSU

発行 高津区地域教育会議
編集 高津区地域教育会議
広報・情報委員会
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-4-1
ノクティ2 高津市民館内
電話 044-814-7603 FAX044-833-8175

活動紹介です

高津区地域教育会議議長 角田 仁
2月1日号

ですが、令和5年の新年のご挨拶を申し上げます。

高津区地域



教育会議は、本年4月からの新年度は第16期目(一期2年)となります。15期30年の歴史があるのですが、ここ3年ほどはコロナ禍により活動が思うに任せませんでした。また、市政だよりの町会・自治会配布に相乗りしてお届けしていた広報誌の配布もコロナによりストップしてしまいましたので、情宣活動もできなくなっていました。

幸い、昨年9月から市政だよりの町会・自治会配布が再開されましたので、この機会に区民の皆様へ地域教育会議を再認識していただくことと、今回の原稿を作成しました。

「地域教育会議とは何か」をこの頁で、また、これまでの活動を2・3頁の見開きで紹介いたします。

願わくは、「興味を持っていただき、一緒に活動していただけた方が現れるといいな(初夢かな?)」。

議長の私がこの広報誌のデータをIllustratorで作っています。

コロナ禍の中、印刷媒体の他、飛び道具も必要かなと思っています。WEBやSNSの得意な方、お手伝いいただけるとうれしいな。

「地域教育会議」って何?

地域教育会議と言っても、何だか分からない人が多いと思います。

地域教育会議は、川崎市の行政区と中学校区に設置されている地域の教育力向上に向けて活動する組織です。名称が堅いこともあり、地域に浸透しているとは言えないかもしれません。

一九八〇年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発。川崎市では地域からの教育改革をめざし「地域教育会議」が提案されました。地域と学校、行政が共に協力し、子どもがいきいき育つまちを作ろうというものです。

そして、おとなも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会をめざします。



各行政区・各中学校区、それぞれ特色のある活動をしています。

高津区地域教育会議は

高津区の住民委員と区内の関係諸団体や学校・行政関係機関からの選出委員とで、高津市民館を活動拠点としてユニークな様々な活動を行っています。

具体的には、①小・中学生の会議体の支援やサポート、②子育てや大人の学びのための講演会の企画・実施、③生涯学習や世代間交流の企画・実施、④活動内容の広報などです。コミュニティが持つ力や人々の絆を大切に、地域を緩やかな連携でネットワークできれば、と考えています。

「住民委員」(18歳以上の高津区民または高津区で市民活動の経験を持つ方で、18歳以上の高津区民5人以上の推薦を受けた方)として一緒に活動いただける方を随時、募集しています。

「住民委員応募・推薦用紙」の請求は、下記QRコードからメールでお願いします。お問い合わせ・ご質問等、何なりとお寄せください。



子ども会議委員会

子どもが主体となって開催する「子ども会議」を運営します。子ども会議の本番に向け、年間を通じて子ども実行委員が準備をするのをサポートします。



市民館のステージに勢揃いした子ども会議実行委員(平成19年)

平成20年3月、高津区子ども会議実行委員のメンバーが、前年12月に開催した「高津区子ども会議」の内容を山崎区長(当時)にご報告。これが初めての区長報告会となり、以降、連綿と続いています(コロナ禍での中断が残念です)。「何でもいいいのでぜひ具体的な実行行動をください。」山崎区長のこの言葉がきっかけで、子ども会議は本番の会議に向けた準備だけではなく、清掃活動などの実践も行ようになりました。

子どもが主体となって開催する「子ども会議」を運営します。子ども会議の本番に向け、年間を通じて子ども実行委員が準備をするのをサポートします。



二ヶ領用水ウォッチングプログラムの方の指導を受け、一緒に清掃活動を行いました。

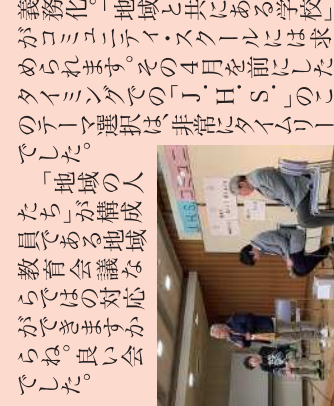
中学生会議委員会

区内5中学校の生徒会役員によって構成される中学生会議と中学生会議が主体となる「J.H.S.コミュニケーション」を運営します。



平成18年に区内5中学校の生徒会役員による中学生会議を、発足

区内5中学校の生徒会役員によって構成される中学生会議と中学生会議が主体となる「J.H.S.コミュニケーション」を運営します。



平成30年度のJ.H.S.に集まった中学生たち(2019年3月)

ポスター・掲示物で自分の中学校を紹介する。

地域の人も壇上にあがり、中学生とディスカッション。

プロジェクト委員会は平成23年度に新設された委員会。既存の委員会活動が、子育てや子どもの教育に偏りがちであったことを反省し、生涯学習の視点も持つて、地域教育会議の目的を達成するための新しい事業を行っています。



これまでプロジェクト委員が行った活動の中から、ユニークなものを紹介します。

プロジェクト委員会

晴れ間はあるものの小雨が続く一日。参加者7名はアップダウンの多い千歳公園の道をまわって『ブラタモリ』のよう

にまち歩き。4時間ほどの散策ですが、地元の名所や歴史を巡ることができ、得た気分。

【おしく防災】平成30年10月 備蓄した非常食を定期的に普段の食事に上手に取り入れ、都度使った分を補充していく「ローリングストック法」で、上手に食糧の備蓄をしようというものです。

調理体験も含め、災害対策における自助の取り組みの大切さを学びます。

栄養士によるレシピの説明と調理デモの後、5組の親子と地域教育会議のメンバーが、アルファ米をミートソースで味付けしたりソルト、溶かしたマシユマロにキャンディやドライフルーツを混ぜて固めたクランチなど、4品のメニューを作りま



参加者を、初めて公算したイベントです。親子で調理し最後の試食の時はみんな笑顔でした。

開催日	テーマ / 講師
平成19年度	子どもの成長と親の役割、あななほ子どもに親が何を求めていますか? 伊藤 正治
平成20年度	子どもの成長と親の役割、2. 奮いの出ない命から... 伊藤 正治
平成21年度	子どもの成長と親の役割、子どもの抱えを分け止めば 伊藤 博之
平成22年度	子どもの成長と親の役割、親の愛護が子どもの心を守る 西野 博之
平成23年度	子どもの成長と親の役割、豊かな心、柔軟な思考、逞かな精神力を持つ 伊藤 正治
平成24年度	子どもの成長と親の役割、あわせ親に育てよう〜脳質での成長ルール (株)星りササキ代表取締役 伊藤 正治
平成25年度	子どもの成長と親の役割、心とこころ 伊藤 正治
平成26年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治
平成27年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治
平成28年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治
平成29年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治
平成30年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治
令和1年度	子どもの成長と親の役割、親子で読書で読書で子育てタイプ〜 伊藤 正治

高津区地域教育会議の「教育を語るつどい」

近年のテーマと講師一覧

教育を語るつどい委員会

年一回、「教育を語るつどい」を開催しています。テーマは、子育てや子どもの教育に関することが多いですが、「子どもの問題は大人の問題」であり「大人自身の学びが大切」という考えが貫かれています。親が変われば子どもも変わる、親が自分の問題として受け止めて学んだことが、子どもにも響いていく。そのような考えで、地域の学びの場所として長い歴史を持っています。

※詳細は次頁をご覧ください。

高津区地域教育会議の令和4年度の「教育を語るつどい」は…

※お申し込み方法は、主催団体が配布するチラシをご覧ください。

■日時 2023年2月25日(土)
13時 開会
～16時30分
・上映 13:15～14:45
・対談 15:00～16:20

■場所 川崎市民プラザ
ふるさと劇場
(川崎市高津区新作1-19-1)

■定員 400名
入場無料

ドキュメンタリー映画

「ゆめパのじかん」+

自主上映会

重江良樹 監督作品

(『さとにきたらええやん』)

教育談義(対談)

汐見 稔幸 様

東京大学名誉教授
保育・教育の第一人者

&

かわさき子どもの
権利フォーラム代表

西野 博之 様

■主催 かわさき子どもの権利フォーラム、高津区地域教育会議、
川崎教育文化研究所、(一財)川崎教職員会館

■後援 (一社)川崎地方自治研センター



監督・撮影:重江良樹 構成・プロデューサー:大澤一生 編集:辻井深 音楽:児玉奈央 制作協力:認定NPO法人フリースペースたまりば
撮影協力:川崎市、川崎市子ども夢パーク、公益財団法人 川崎市生涯学習財団、夢パーク支援委員会、ちいぐれん(地域で子育てを考えよう連絡会)、風基建設株式会社
製作:ガラフィルム、ノンデライコ 宣伝:ウッキー・プロダクション、リガード 配給:ノンデライコ 2022/日本/90分/日本語/カラー/ドキュメンタリー
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会 推薦:厚生労働省社会保険審議会

神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、子どもたちのかけがえのない「じかん」を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。



TAKATSU

【編集後記】

カルチャーたかつ第71号をお届けします。
1980年代の荒れた学校・受験戦争を、学校・家庭・地域の連携で解決しようと誕生した地域教育会議。では、その課題は解決できたのだろうか?また、40年の時間が経過した現在、地域教育会議はどのようにあればいいのか。高津区地域教育会議が15期を迎えようとする2020(令和2)年2月の全体会で、

そのような議論をはじめたところでした。その後、コロナの感染が拡大、話し合いは中断。今、私達は40年前とは別の課題を抱えているのだと思っています。
今回は、地域教育会議の活動を具体的に知っていただこうと編集しました。興味を持っていただければ幸いです。
住民委員は通年で募集していますので、何かありましたら、お気軽にメールでご照会ください。

高津区地域教育会議 議長 角田 仁

※高津区地域教育会議のロゴマークの3つのハートは、学校・家庭・地域の連携を表現しています。